



2010～2011年度
R I テーマ

Building Communities - Bridging Continents
地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー会長 レイ・クリングスミス (国籍・米国)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0800 別府市北浜1-14-15
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 木村きぬゑ	理事 津末美代子	役員 会長 木村きぬゑ	会 長 近藤 賢司
〳 亀井 孝	〳 大島由美子	副会長 亀井 孝	直前会長 近藤 賢司
〳 河村 貴雄	〳 高宮 勝美	幹事 後藤 隆	
〳 村津 忠久		会 計 河村 貴雄	

VOL. 23-37
2011年4月19日

第1045回例会

会報委員長 衛藤 秀子

- ◆点 鐘 12:30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆R S それでこそロータリー
- ◆唱 歌 めだかの学校
- ◆B. G. M 「宗次朗こころの歌」より
風
翼をください
遠い世界に 他

会長の時間

会長 木村きぬゑ

「ダチョウ症候群」ってご存知ですか？ ダチョウと言う鳥は自分の卵を産んだ場所を忘れてしまうそうです。なんと言うことでしょう。それに対して北極のペンギンは自分の体に包み込んで身を呈して寒さから子供を守る。寒い所と暖かい所の違いでしょうか。子育ても人間と一緒に、いろいろな育て方があるものだなーと思います。

私もダチョウ症候群になっているのではと心配しています。最近物忘れが多く、痴呆症にならないか心配しています。

それでも忘れる事は良い場合も多くあります。何時までも嫌な事を覚えていて、息苦しくなったりストレスを抱えるより、「忘れる方が幸せよ」と思う時もあります。忘れると言うより「気にしない、こだわらない」方が人は豊かな人生を送れるのかも知れませんね。

頭の柔らかい若い方はいろいろな事を忘れずに今からいろいろな問題にどんどん果敢にチャレンジしてください。頑張ってください！！

◆出席報告 出席委員長 大島由美子

本日 の 出 席	会 員 総 数	23 名
	出 席 者	18 名
	事前メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
前 々 回 の 訂 正	欠 席 数	3 名
	出 席 率	81.82 %
	出 席 率	90.48 %
	事後メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
4/5	出 席 免 除	1 名
	修 正 出 席 率	95.24 %

連 続 - 回
通 算 742 回 100 %

◆メイクアップ

事前 森園 (地区協議会)
事後 河村 (別府東)
欠席 梶田、大島、河村
出席免除 溝部

◆幹事報告

幹事 後藤 隆

—雑誌月間—

1. 本日の内容
「会員増強フォーラム」
高宮勝美会員増強委員長
2. 「湯布院ロータリークラブ創立20周年記念式典・祝賀会」のご案内
日 時 平成23年6月11日 (土)
登録受付12:00～、点鐘13:00～



記念コンサート14：30～、祝賀会17：30～
場 所 式典・記念コンサート：

湯布院公民館 ☎0977-84-2604

祝賀会：

ゆふいん山水館 ☎0977-84-2101

記念コンサート 九州電力吹奏楽部

指揮者 村里修二氏

ホルン奏者 花村純一氏（湯布院RC会員）

登録料 会員10,000円／ご同伴8,000円

3. 委員会報告

村津忠久社会奉仕委員長より

4. 4月17日(日)10:00～熊本

市崇城大学に於いて、

「2011-2012年度RI第2720

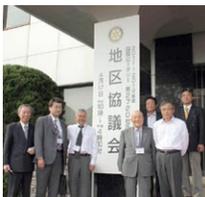
地区地区協議会」が開催

され、次年度に向けて該

当委員会の次年度委員長

が出席されました。

出席者：亀井孝次年度会長、森園伸也次年度幹事、高宮勝美クラブ奉仕、平野英壽会員増強、森宗明職業奉仕、村津忠久社会奉仕、中尾誠新世代 各次年度委員長



5. 本日、例会終了後、「第11回臨時理事・役員会」を開催致します。

6. お祝い

会員誕生日 木村きぬゑ会員（4月19日）

※記念品をお渡し致します。

結婚記念日 栢田 健治会員（4月19日）

※ご自宅にお花が届きます。

7. 例会変更のお知らせ

大分城西RC 4月27日（水）の例会は、創立21周年記念例会の為 同日18：30～大分全日空ホテルオアシスタワーに時間変更

湯布院RC 4月27日（水）の例会は早朝例会の為 同日6：00～山崎グラウンドに時間・場所変更

大分中央RC 4月27日（水）

大分東RC 4月28日（木）

大分臨海RC 5月2日（月）

大分1985RC 5月2日（月）

別府RC 5月6日（金）

大分南RC 5月6日（金）

の例会は、定款第6条第1節（C）に基づき休会

8. 次週例会の予定

「会員卓話」平野英壽会員

「会員コラム」森 宗明会員

9. 本日の回覧

①竹田・くにさき・杵築RC 週報

10. 本日の配布

①週報No.1044

②ロータリー探究：「会員増強の原点」

鳴海淳郎R情報委員長より

スマイルボックス

委員長 森 宗明

○木村会長

堀由美ちゃん、退院おめでとう。誕生日お祝い有難うございます。十年とって56才です。出来る事ジャンジャンやってみよう。

熊本地区協議会おつかれ様。

○亀井会員

4月17日、地区協議会参加の次期委員の皆様、おつかれ様でした。会長、幹事共に頑張らましよう！

中尾会員に長距離の運転をしていただき、感謝申し上げます。

○後藤会員

地区協議会出席の皆さん、ご苦労様でした。来期よろしくお祈いします。

○平野会員

先日、熊本の地区協議会へ行った夜、ホテルへマッサージのおばちゃんを呼びました。マッサージは女性より男性の方がよかったです。でもなかなか力が強くて大変上手でした。私がうつぶせでもらっていた時、苦しくないですかと聞かれた時、うーん苦しいのは生活だけと私が言うのと、突然手が止まってしまう、しばらく長い間がありました。それから大笑いになって力が入らなくなり、ちょっと不満の残るマッサージでした。

○村津会員

一昨日・日曜日、熊本で開催された「地区協議会」に出席しました。亀井次期会長、森園次期幹事、平野、森、高宮、中尾、各会員と御一緒の旅でしたが、往復の道中も楽しく、前夜の夕食は熊本ならではの御馳走で、協議会も、当然のこと乍ら、いい勉強になりました。

同行の会員みな様に特に感謝してスマイル。

○堀会員

ご迷惑をおかけ致しましたが、16日の土曜日に退院しました。完全復活です。またよろしくお願い致します。

健康に感謝してスマイル。

○森会員

楽しいニュースがないので、1997年のサラリーマン川柳から3句。

「父帰る娘出かける妻眠る」

「預金など無いのになげく低金利」

「一生をかけた会社に先立たれ」

社会奉仕委員会報告 委員長 村津 忠久

4月17日の地区協議会・社会奉仕部門の会議に於いて、次年度から、新たに「プライダル推進委員会」が設立される事になりました。

詳しくは次のクラブ協議会の折に、ご報告申し上げます。



2010-2011年度第2回会員増強フォーラム

“会員増強計画グループ表”

会員増強委員長：高宮勝美 副委員長：平野英壽

○印グループリーダー

A班

○高宮 勝美
津末美代子
栢田 健治
亀井 孝
岐部 光男

C班

○木村きぬゑ
衛藤 秀子
河村 貴雄
堀 由美
平野 教康
梶原 和朗

B班

○平野 英壽
中尾 誠
大島由美子
鳴海 淳郎
前田 哲矢

D班

○後藤 隆
森 宗明
溝部 仁
近藤 賢司
梅津ヤヨイ
村津 忠久

「クラブ会員増強委員会の手引き」より

クラブの会員基盤を築くには、会員を勧誘すると同時に、会員を維持することも必要です。新会員が入会することで、多様性や新鮮なアイデア、新しいエネルギーなどがもたらされるなど、クラブにとって大きな利点があります。一方、現会員は、クラブの会員基盤を保ち、クラブの有意義な活動を続けていくために欠かせない存在です。

クラブ会員増強委員会は、新会員の勧誘にあたって目標を設定し、目標を達成するための計画を立て、この計画を実行するためにクラブ会員とコミュニケーションを図ります。委員会は、クラブの勧誘活動を先導しますが、新会員を勧誘するのは会員一人ひとりの責務です。会員増強委員は、クラブ会員の友人や家族、仕事関係の知り合い、地域の人々に声をかけ、入会を勧めるよう会員に奨励すべきです。

会員維持活動は、会員増強委員会の最優先事項であるべきです。クラブの長所と短所を知るために、定期的にクラブの評価を行いましょう。会員には十分に情報を提供し、活動に参加してもらい、クラブへの貢献に感謝の意を表することで、会員の満足度が高まります。また、出席の傾向、在籍期間、奉仕プロジェクトへの参加、ロータリー財団への寄付の状況などを随時確認することで、対応すべき問題を把握することができます。

ロータリー・クラブの会員基盤を築くプロセスは流動的で、多くの場合に次の段階を踏みます。

- 探し出す
- 紹介する
- 入会を勧める
- 入会させる
- 導き、情報を伝える
- 参加させる

●教育する

探し出す。地域で事業・専門職に携わり、クラブ入会の資格を備えた人物を探し出します。新会員を慎重に選ぶことで、クラブの会員維持率が高まると同時に、新会員受け入れについて好意的な雰囲気生まれます。

クラブが地域社会のさまざまな職業を反映しているかどうかを確認するため、職業分類調査と会員の多様性に関する調査を行い、地域の職業をさらに正確に反映できるよう勧誘活動の焦点を定めます。

紹介する。会員候補者に、ロータリーの歴史、理念、奉仕とリーダーシップの機会について説明します。すべての会員がクラブに新会員を推薦するよう奨励することが大切です。入会前に、熱心なロータリアンによって紹介されたり、クラブのプロジェクトについて情報を与えられた会員候補者は、より積極的に参加する傾向があります。

委員会は、来訪者に渡すためのクラブ概要資料をまとめておきます。また、RIと財団を紹介する出版物を含む「新会員のための情報キット」(423-JA)を提供するのも一案です。

入会を勧める。推薦者と会員増強委員の両者が直接会員候補者を訪ね、入会を勧めます。この訪問によって、会員候補者はロータリーの知識と経験を備えたクラブ内の人物2人と連絡が取れるようになります。勧誘するロータリアンは、候補者が関心を抱きそうなクラブ活動やプロジェクトを紹介するために、事前に会員候補者の個人的な趣味や才能について調べておくといでしょう。

会員に推薦された人の資格を調査する際には、理事会を援助します。候補者が会員となる資格を満たしている場合、委員会はクラブ理事会に提案書を提出し、候補者の推薦理由を報告します。

入会させる。新会員は、厳粛かつ意義ある方法で迎え入れるべきです。入会式には、会員の家族も招待します。入会式では、仕事や家族について、新会員に簡単に自己紹介してもらいます。全員で新会員を歓迎できるように、クラブの全会員が出席するようにしましょう。クラブは新会員に以下を渡す必要があります。

- ロータリー徽章の襟ピン
 - 会員証
 - クラブ用の名札とバナー
 - 地区名簿
 - 地区ガバナー月信
 - 地元クラブのリスト（例会のメイクアップ用）
- クラブ管理運営委員会と連絡を取り、新会員とその推薦者をクラブ会報や例会で紹介してもらいます。

情報を与え、指導する。新会員のための正式なオリエンテーション・プログラムがない場合、会員増強委員会がこれを計画すべきです。新会員の



ためのオリエンテーションは、入会前に提供した情報を土台に、入会直後から始まり、数カ月間にわたって実施されます。オリエンテーションのプログラムでは、国際ロータリーのプログラム、ロータリー財団、クラブの奉仕活動、会員の恩典と責務について新会員に説明してください。

参加させる。すべてのクラブ会員に、クラブのプロジェクト、委員会、活動、募金活動、理事会会合、例会、親睦活動に参加してもらいます。積極的に参加している会員はクラブの一員であると実感し、ロータリーでの活動を優先するようになります。新会員にクラブの活動に参加してもらうため以下の案を参考にしてください。

- 新会員を委員に任命したり、あるいは例会で務める役割を割り当てる。
- 同じロータリー年度にクラブに入会した会員が協力してプロジェクトに参加できるプログラムを紹介する。
- 新会員に奉仕プロジェクトにボランティアとして参加するよう奨励する。
- 入会できそうな仲間を2、3人見つけるよう、新会員に求める。友人にロータリーを紹介することで、自分もロータリーに対する知識が深まり、熱意も高まる。
- RI国際大会に出席したり、研究グループ交換のメンバーを食事や活動に招待したりすることで、ロータリーの国際性を体験するよう新会員に勧める。
- 代表として新会員を地区大会に派遣し、ロータ

リーの世界について、また所属クラブ以外のプロジェクトについて学んでもらう。大会参加のための費用の一部または全額を新会員のために負担するクラブもある。大会後は、新会員にクラブで報告をしてもらう。

教育する。新会員は、以下の方法で最初の6カ月間にロータリーへの理解を深めることができます。

- 新会員のオリエンテーション会合に出席する。
- ウェブサイト（www.rotary.org）のロータリーEラーニング・センターを利用する。
- クラブ協議会、理事会会合、委員会会合に出席する。
- クラブ例会で自分の職業について話し、それがクラブにとってどのように役立つかを話し合う。
- ほかのクラブでメークアップする。
- クラブの委員を務める。

ロータリーに入会してから始めの数カ月間に新会員が正式なオリエンテーションのプロセスを踏むことは重要ですが、入会后3カ月の会員も30年の会員も一様にロータリーの会員であることにについて学び続けることが大切です。



会員コラム

衛藤 秀子

「天災 人災」

「天災は忘れた頃にやって来る。」といわれますが、今回の東日本大震災は千年に一度という巨大地震で、その上あの東日本大震災。連日のテレビの報道で知らされ、大自然の猛威の前には、人間の非力さをまざまざと見せつけられました。被災され亡くなられた方々には心よりご冥福をお祈りいたします。又、残された方々にも一日も早く立ち直られることをお祈りいたします。行政には一刻も早く対応を願うばかりです。しかし、ここで私がうれしく思うことは、テレビの報道で見る限りでは被災者の皆さんが、明るく前向きだということです。戦中戦後を過ごして来た私には、今の日本人には、当時の様な助け合いの精神などなくなったのかと思いきや、どうしてどうして、皆さんの頑張る姿を見て安心しました。

それにつけても、私が許せないのは東京電力の福島原発です。これは全く人災ではないでしょうか。戦後日本人は働いて働いて生活が豊かになり、幸せになりました。その反面失ったものが大きい、

とよく言われますが、遂に人の命まで失われる様になりました。本末転倒です。どうしても原発は必要なのでしょうか。それなら、最初造る時にどうして「安全」ということをもっと考えなかったのでしょうか。全くこの事故は人災に外なりません。この原発で農家や酪農家、漁師の方々はほんとうに気の毒です。放射能に汚染された（まだ死んではないが）乳牛をテレビで見た時、私は涙が出ました。私達の生活に原発は必要なのでしょうか。ここで日本人もちょっと立ち止まっていると考えるてみてはどうでしょうか。

今年も桜が散り始めました。被災された方々もお花見を楽しみにしていただいでしょに…。被災されたみなさん、元気を出して来年のお花見を楽しみにして下さい。

年々歳々 花相似たり
 歳々年々 人同じからず
 亡くなられた方々のご冥福を祈りつつ……
 4月10日記す
 次回、森宗明会員です。